

1. 学歴

1998年 3月 神戸大学経済学部 卒業
2000年 3月 大阪大学大学院経済学研究科 修了
2006年 5月 ロチェスター大学経済学部 Ph.D.取得

2. 職歴・研究歴

2006年 4月 - 2008年 3月 立命館大学 経済学部 准教授
2008年 4月 - 2016年 3月 横浜国立大学 国際社会科学研究院 准教授
2014年 8月 - 2015年 3月 グラスゴー大学 アダムスミス・ビジネススクール 客員研究員
2016年 4月 - 一橋大学大学院経済学研究科 教授
2022年 4月 - 2023年 3月 ボストン大学 経済学部 客員研究員

3. 学内教育活動

A. 担当講義名

(a) 学部学生向け

上級ミクロ経済学, 上級理論経済学 I

(b) 大学院

上級ミクロ経済学, 上級理論経済学 I, 経済理論ワークショップ

B. ゼミナール

学部後期, 大学院

C. 講義およびゼミナールの指導方針

ミクロ経済学の内容は、定義・定理・証明というプロセスに表されているように、抽象化、形式化されている。講義では、図やグラフによる直感的理解、定理の証明の基本ステップ、経済学的含意などを重視して説明を行う。それと同時に、受講者はテキストや講義ノートの証明をじっくりと読み、練習問題を解くことで、厳密な数学的議論に習熟することが重要である。経済学は積み上げ式の学問であり、ミクロ経済学はその基礎にあたる。今後様々な応用科目を学んでいくためにも、直感的理解と厳密な論証を結びつける訓練をしてもらいたい。

学部ゼミナールでは、ミクロ経済学の基礎を前提として、意思決定理論に関するテキストを輪読する。ゼミナールを通じて、自ら研究テーマを設定し、主体的に勉強する姿勢と、自分が理解している内容を他人に分かりやすく伝えるプレゼンテーションの技術を身につけてほしい。大学院ゼミナールでは、意思決定理論に関する論文の発表を通じ、オリジナリティのある論文を作成できるよう指導を行う。

4. 主な研究テーマ

意思決定理論とその応用。特に以下のテーマについて研究している。

- (1) 主観確率, および主観的情報構造の公理的研究
- (2) 誘惑と自制の意思決定
- (3) 時間選好率と異時点間選択

5. 研究活動

A. 業績

(a) 著書・編著

尾山大輔・安田洋祐 編著『経済学で出る数学』日本評論社, 2013 年, 第 9 章(確率とリスク)を執筆

(b) 論文(査読つき論文には*)

- *"On the Consistency of Stationary Markov Equilibria with an Exogenous Distribution," *Journal of Economic Theory*, Vol.113, p.316-324, 2003.
- *"Stationary Markov Equilibria on a Non-Compact Self-Justified Set," *Journal of Mathematical Economics*, Vol.42, pp.269-290, 2006.
- *"Subjective Probability over a Subjective Decision Tree," *Journal of Economic Theory*, Vol.136, pp.536-571, 2007.
- *"Comment on "Ellsberg's two-color experiment, portfolio inertia and ambiguity", (joint with Youichiro Higashi, Sujoy Mukerji, and Jean-Marc Tallon), *International Journal of Economic Theory*, Vol.4, pp.433-444, 2008.
- *"Subjective Random Discounting and Intertemporal Choice," (joint with Youichiro Higashi and Kazuya Hyogo), *Journal of Economic Theory*, Vol.144, pp.1015-1053, 2009.
- *"Uphill Self-Control," (joint with Jawwad Noor), *Theoretical Economics*, Vol.5, pp.127-158, 2010.
- 「誘惑と自制の意思決定」日本経済学会編『現代経済学の潮流 2012』, 第 5 章, 東洋経済新報社, 2012.
- *"Stochastic Endogenous Time Preference," (joint with Youichiro Higashi and Kazuya Hyogo), *Journal of Mathematical Economics*, Vol.51, pp.77-92, 2014.
- *"A Theory of Subjective Learning," (joint with David Dillenberger, Juan Sebastian Lleras, and Philipp Sadowski), *Journal of Economic Theory*, Vol.153, pp.287-312, 2014.
- *"Menu-Dependent Self-Control," (joint with Jawwad Noor), *Journal of Mathematical Economics*, Vol.61, pp.1-20, 2015.
- *"Learning the Krepsian State: Exploration through Consumption," (joint with Evan Piermont and Roe Teper), *Games and Economic Behavior*, Vol.100, pp.69-94, 2016.
- *"Comparative Impatience under Random Discounting," (joint with Youichiro Higashi, Kazuya Hyogo, and Hiroyuki Tanaka), *Economic Theory*, Vol.63, pp.621-651, 2017.
- *「異時点間選択理論の新展開」一橋大学経済研究所編集『経済研究』第 72 卷 第 2 号, 2021.
- *"Optimal Discounting," (joint with Jawwad Noor), *Econometrica*, Vol.90, pp.585-623, 2022.
- *"Imprecise Information and Second-Order Beliefs," (joint with Takashi Ui), *Communications in Economics and Mathematical Sciences*, Vol.1, pp.67-86, 2022.
- *"Habit Formation, Self-Deception, and Self-Control," (joint with Takashi Hayashi), *Economic Theory*, Vol.74, pp.547-592, 2022.

B. 最近の研究活動

(a) 国内外学会発表(基調報告・招待講演には*)

"Imprecise Information and Second-Order Beliefs," SAET Conference, Academia Sinica, Taipei, 2018 年 6 月 11 日

"Information Acquisition with Subjective Waiting Costs," Risk, Uncertainty, and Decision Conference, Paris School of Economics, Paris, 2019 年 6 月 6 日

*"Information Acquisition with Subjective Waiting Costs," Asian Meeting of the Econometric Society, Xiamen University, Xiamen, 2019 年 6 月 15 日

"Costly Subjective Learning," SAET Conference, Seoul, オンライン形式, 2021 年 8 月 17 日

"Coase Information Acquisition," Asian Meeting of the Econometric Society, 慶應義塾大学/東京大学, ハイブリッド形式, 2022 年 8 月 8 日

(b) 国内研究プロジェクト

科学研究費補助金基盤研究(C)「認知的最適化による時間選好率の理論」(No.18K01503), 2018 年 - 2020 年度(研究代表者)

京都大学経済研究所プロジェクト研究「主観的学習の理論とその拡張」, 2018 年度(研究代表者)

京都大学経済研究所プロジェクト研究「主観的学習理論の拡張: 情報収集と曖昧性」, 2019 年度(研究代表者)

科学研究費補助金国際共同研究強化(A)「認知的最適化モデルによる限定合理性, リスク, 異時点間選択, 利他性の融合」(No.19KK0308), 2019 年 - 2022 年(研究代表者)

科学研究費補助金基盤研究(C)「曖昧性下の情報獲得問題の公理的研究」(No.21K01386), 2021 年 - 2024 年度(研究代表者)

(c) 国際研究プロジェクト

Optimal Discounting (joint with Jawwad Noor)

Coase Information Acquisition (joint with Youichiro Higashi, Kazuya Hyogo, and Xiangyu Qu)

(d) 研究集会オーガナイズ

第 3 回 Decision Theory Workshop, 一橋大学, 2018 年 5 月 26 日, オーガナイザー

Hitotsubashi Summer Institute: Microeconomic Theory, 一橋大学, 2018 年 7 月 30 日, 31 日, オーガナイザー

第 4 回 Decision Theory Workshop, 岡山大学, 2018 年 10 月 13 日, オーガナイザー

Hitotsubashi Summer Institute: Microeconomic Theory, 一橋大学, 2019 年 7 月 29 日, 30 日, オーガナイザー

第 5 回 Decision Theory Workshop, 小樽経済センター (SWET 共催), 2019 年 8 月 10 日, オーガナイザー

第 6 回 Decision Theory Workshop, 一橋大学, 2019 年 10 月 26 日, オーガナイザー

第 8 回 Decision Theory Workshop, オンライン, 2020 年 10 月 24 日, オーガナイザー

Hitotsubashi Summer Institute: Microeconomic Theory, オンライン, 2020 年 11 月 28 日, 29 日, オーガナイザー

第 9 回 Decision Theory Workshop, オンライン (数理経済学会共済), 2021 年 5 月 22 日, オーガナイザー

Hitotsubashi Summer Institute: Microeconomic Theory, オンライン, 2021 年 8 月 20 日, 21 日, オーガナイザー

第 10 回 Decision Theory Workshop, オンライン, 2021 年 10 月 23 日, オーガナイザー

第 11 回 Decision Theory Workshop, オンライン, 2022 年 6 月 4 日, オーガナイザー

Hitotsubashi Summer Institute: Microeconomic Theory, オンライン, 2022 年 11 月 13 日, オーガナイザー

6. 学内行政

(b) 学内委員会

一橋ジャーナル編集委員(2016 年 4 月 -)

経済 GLP 運営委員(2017 年 4 月 - 2020 年 3 月)

国際交流科目教員会議委員(2018 年 4 月 - 2019 年 3 月)

大学院教育専門委員 (2020 年 4 月 - 2022 年 3 月)

7. 学外活動

(b) 所属学会および学術活動

日本経済学会, 数理経済学会, Econometric Society

(d) 高校生向けの出張講義・模擬講義

出張講義(岡山県立岡山芳泉高校) 2018 年 9 月 15 日

出張講義(灘高校) 2019 年 6 月 22 日

模擬講義(福岡県立筑紫丘高校) 2019 年 12 月 20 日